

問題【社会】

次の問題に答えましょう。

- (1) 鎌倉時代に、京都に置かれたものといえば？
- (2) 室町時代に、鎌倉に置かれたものといえば？
- (3) 江戸時代に、京都におかれたものといえば？
- (4) 江戸時代に、大阪に置かれたものといえば？
- (5) 鎌倉時代の将軍の次の役職は？
- (6) 室町時代の将軍の次の役職は？
- (7) 江戸時代の将軍の次の役職は？（臨時職の大老は除く）

豆知識 雑学コラム

共通点や相違点を探る

さて、今回は各時代の政治の仕組みについて覚えましょう。新しい政治が始まったときには、前の時代の政治の中心がどこにあったのかを思い出すと良いですよ。

きっかけは、鎌倉時代の承久の乱です。第3代将軍の源実朝が殺害されると、後鳥羽上皇は「鎌倉幕府を倒すチャンスだ！」と1221年に承久の乱を起こしました。当時の鎌倉幕府の人たちからすれば、自分たちが滅びるかもしれないという危機感でいっぱいだったでしょうね。鎌倉幕府は勝ちましたが、この反省から京都に「六波羅探題」を置き、朝廷の監視を行いました。

面白いことに、この反省はその後の時代でも生かされています。次の室町幕府は「鎌倉府」を設置しました。また、江戸幕府は、京都に「京都所司代」、大阪に「大阪城代」を設置しました。天皇がいる京都や、豊臣秀吉がいた大阪は監視の必要がありました。

また、将軍の次の役職も良くテストに出ますね。鎌倉時代は「執権」、室町時代は「管領」、江戸時代は「老中」でした。それぞれに特徴があります。鎌倉時代の執権は、将軍の代わりに政治の実権を握っていました。

この北条氏が行った政治を執権政治と呼んでいます。室町時代の管領は、あくまで将軍の補佐でした。権力の集中を防ぐため、有力な守護大名である細川氏、斯波氏、畠山氏が交代で務めていました。江戸時代は老中が実際の政治を行っていました。譜代大名から4、5人選ばれることで、権力の集中を防いでいました。

歴史を勉強するときは、各時代を詳しく勉強するとともに、各時代に共通することや、時代によって違うところを勉強すると面白いですね。

【解答】



- (1) 六波羅探題
- (2) 鎌倉府
- (3) 京都所司代
- (4) 大阪城代
- (5) 執権
- (6) 管領
- (7) 老中